

都留市 ふれあい集会

今回は第1回の谷村地区の方々と、第2回の農業従事者とのふれあい集会の様子をまとめ特集として取り上げました。

写真：第2回ふれあい集会の様子

ふれあい集会って？

「市民総参加の市政」を実現することを目的としています。皆さんと市長との対話の中で皆さんの声を直接聴き、市制に反映させながら、これからの都留市を築きあげていくという趣旨の集会です。

だれが参加しているの？

開催する地区に住んでいる方、働いている方、学んでいる方、活動している方など、どなたでも結構です。

自分の地区の開催はいつ？

申し訳ありませんが、開催日程はまだすべて決定していません。開催に間に合うように広報へ掲載しますので、ぜひご確認ください。

どんな意見でもいいんですか？

テーマは決めていませんのでざつとばらんなお話をお聞かせください。ただし個人的な相談や苦情、誹謗または中傷に該当するようなことは取り上げかねますのでご了承ください。

第1回ふれあい集会

谷村地区

2月27日(木)開催



市長…こんばんは。先日の14、15日の大雪の際は市民の皆さまにおかれましては、除雪のご協力と車に閉じ込められた帰宅困難者への温かいおもてなしなど、まことにありがとうございます。各地より感謝の手紙が多数届いております。都留は心やさしい人が多い土地柄であると改めて感じました。

さて、県議員時代には48回のふれあい集会を開催してまいりましたが、本日は市長として初めてのふれあい集会ということもありますので、先に4つのコンセプトについてお話しさせていただきます。後半は皆さんのお話を聞き市政に反映させていきたいと思います。

■第一のコンセプト「作ります！豊かな産業のあるまち」

- ①シルバー産業を興します
- ②特長ある農産物を興し、育成に力をいれます

市長…自治会長さんには情報を的確に出してまいります。先日大雪では、道路で困っている人に対して、近所の人が毛布を持っていたり、おにぎりを握ったりしてくれたりすることが多く、市民の方々の温かさに感謝しています。

女性Aさん…市内循環バスは200円で、安くても良いですよ。私も使っています。福祉タクシーも結構使っているようですよ。

市長…27年度に見直しがあるので、費用対効果やニーズに合わせ、しっかりと見直しをしていきます。

男性Eさん…話は変わってしまいましたが、「つるびー」がかわいいと我が家では評判なので、もっと活用した宣伝をしてほしいです。

市長…今後検討する農産物直売所などを起点とし、観光客には市内に長時間どどまってもらいたいと考えているので、そういったところに「つるびー」を置くのも良いかもしれませんね。

女性Bさん…家中川にゴミを捨てる行為をどうにかしてほしいですね。

市長…条例を作った罰金制度にするというのとはなかなか難しいですね。皆さんにはとにかく川にゴミを捨てないでほしいです。私が子どもの頃は素足で歩けた川が今では歩けないですね。

女性Aさん…ボーイスカウトでも上谷中心でゴミ拾いしているが、大学の周辺も汚いですね。

男性Fさん…住民が綺麗にするしかないですよ。綺麗にして、きれいなまちのイ

企画も練っているところであります。郷土に伝わる伝統芸能など魅力を発信し一人でも多くの観光客を呼び込みます。4月のリニア見学センターのリニューアルオープンに伴い来訪者もたくさん来るでしょう。インフラを含めて検討し、東京からも近いという地の利を生かし観光客増に繋げたいと考えています。

■育みます！やさしさと元気のまち

児童・育児については、子どもが安心して遊べる環境をつくりたいと考えています。福祉関係では、高齢者の方に元気で長生きをしてもらいたいです。皆さんが健康な体になってもうたために、運動したり人と交流できるような環境を準備し、心身共に元気でいてくれば、医療費の削減につながると思っています。防災に関しては、市にはしっかりとしたマニュアルがあるので、見直しつつ取り組んでいきます。

■実行します！新しいステージへ

このふれあい集会をさらに拡充する中で、市民の皆さんの意見を聞き、市政に反映をしていくつもりです。人事・建物の白書を作り検証していきます。既存のものを見直していきます。

谷村地区ふれあい集会の様子

「ざつとばらんな会話から、市政推進の一助となるよう、ご意見をお聞かせください。」

市長…さて、私からの話は以上とさせていただきます。皆さんからの話を聞きたいと思っています。

女性Aさん…ボーイスカウトの活動をしています。野外の活動が主なので、物置を建てたいのですが、そういった場所はありませんか。

市長…今後施設の見直しや新しい施設が建設された場合にはそういった場所もできるかもしれませんね。急傾斜地の場所なども多いですが、土地が空いてくる可能性はありますので検討します。

男性Bさん…災害時には市からCATVでタイムリーな情報を出せないでしょうか。

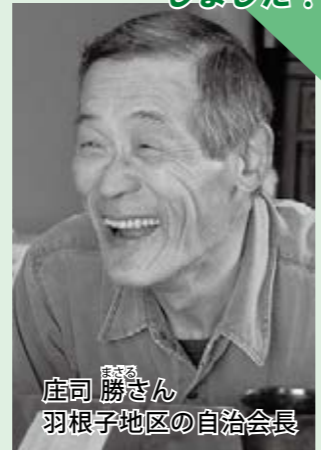
市長…独立の団体ということもありますし、市内全域が加入していないので難しい面もありますね。市内の100%が加入していれば市から助成金など出せることもあるかもしれませんが、映らないところがあると不公平感がありますね。現在は防災無線で対応し、緊急度を考慮したうえで、正確な情報提供を行っています。しかし今後の課題として検討したいと思います。

男性Cさん…去年の夏の猛暑と今回の大雪は想定外とされたが、こういった施策で臨むのですか。

市長…最悪の状況を想定しながら、対応できるマニュアルを作成し取り組みます。

男性Dさん…市でも防災計画の見直しをすると思いますが、自治会長として自主防

参加者にインタビューしました！



ふれあい集会にはどのような気持ちで参加したのですか？

こういう会は今までなかったもので、様子が分からなかったのですが、身近で話をすることができて良かったですね。とても話やすいと感じました。

■会議に参加した後はどうでした？

後日地域に持ち帰って、周りの人と話をしました。私も仕事をしているので、今回のように夜の時間帯に地域を回ってくれば参加できますね。

■皆さんから色々な意見がでしたが、どうでしたか？

そうですね、私自身は地域についての話をしたり、色々な話題が出ましたね。

皆さん地域のことには色々興味があるようで、一時間では足りないと感じるくらいでした。今後お話をする機会を作ってもいいかなと思います。

■貴重なお話ありがとうございました。

農業従事者

3月24日(月)開催



「思いは一緒です。都留市の農業を活性化させたい。」

市長：(中略)26年度に掲げるコンセプトの中の一つに、地域産業の活性化を狙い、農産物の直売所を作るという事業がございませう。本日は皆さんと一緒にこのことについて考えていくために、農業に関係する方々にご出席をお願いした次第であります。

も、もう少し人が呼べるようになれば、採算ベースに乗ってくるのではないかと思います。弊社では体験農業を行っています。が、来るお客さんは土に触れられることに喜びを感じていますし、都留のおもてなしなど、大変喜んでいらつています。景観なりサービスなり、そういった何かしら付加価値を付ければ人も来ますし、今まさに芽が出ているのではないのでしょうか。市長：農業の大型化はどうなのですか。男性Bさん：中山間地なので農地を広げるのは難しく、コストもかかると思つて。男性Cさん：先ほどお話もありましたが、産地として作るのはどうか。玉ねぎは玉ねぎ、ねぎならねぎで産地を作れば良いものができ、特色が出るのではないかと思つて。

「成功するかしないかは皆さんのお力にかかっております。」

男性Dさん：直売所はどれくらい儲けられる規模のものを考えているのでしょうか。そしてどれくらい土地があればその規模に見合う儲けを出せる農産物を作ることができるとは思ふのでしょうか。直売所の経営は難しい面もあり、朝採った野菜を出さなければ、古いものは売れませんが、行政はどれくらい儲けたいと考えているのでしょうか。

市長：私もまさにそう思ひまして、この第1回ではどれくらい農産物ができるのかということや、大型化といいますが、なるべく機械化を進めて生産高を上げればと考えています。レジで品物が薄くなれば、自動的に生産者のほうに連絡がいくようなシステムもありますので、

生が考えた直売所の様子です。(図を見ながら)これを参考に考えられるのは、例えばバイキングができるような食堂や、子供が遊べる広場、足湯を作るとか、大型の循環バスが来て、直売所のモールにいつでも入れるような施設です。あくまでこれはイメージの一例ですが各地で成功している事例もあるので、市でもこれから検討していくわけでありませうが、私の考えは、こういったハードはお金をかけて作れるが、ここで実際に売れるものはお金をかけても作れません。365日そこで買える物がなければ人は来ませうし、商品に魅力がなければ売れません。

14年後にはリアは実験線ではなく営業線になる予定です。そうなった場合、来訪者が減る可能性が高いですが、もしここに魅力的な施設があれば必ず人は来ます。数年後にはオリンピックもありませんので、こういったチャンスはどうとらえるか。

問題は皆さんなんです。私は農業に関しては素人なので、こんなことできるのかなというように考えしかありませんが、農業の大型化で機械化を図り、人手不足を解消し、利便性を図ることで大々的にやたらどうかということが可能です。どうか、分かりませんが考えています。飛躍しませんが地区ごとに大きくまとめることはできないでしょうか。ある地域では人参とジャガイモ、というように

今おつしやられたように新鮮味といったニーズにも対応できるのではないのでしょうか。今日は第1回の皆さんとお話として、成り立つか成り立たないかということも考えていきたいです。

成功するかしないかはみなさんのお力にかかっております。皆さんがともかく儲かる場を提供しますので、作る・作らないの判断はみなさんなんです。難しい、というのであればここから話は進まなくなつてしまいます。

男性Dさん：前向きに、知恵をだすのは人数をそろえることが必要ですね。

男性Eさん：一年中野菜を作らなければなりませんね。

男性Fさん：今までの話では大規模化、ということですが、ここは首都圏に一番近いところなので、道の駅だけでなく、東京に送り出せるようなルートを作ったほうが良いのではないかと思ひますので、大規模化には賛成です。採算ベースに合わせるためにも、ぜひ大規模化したいですね。

男性Gさん：都留で農産物がどれくらい作られているかのポテンシャル、現状把握をしなければなりませんね。後は連携です。フットパスなどが流行っていますので、里山を整備して歩きやすくしてはどうでしょうか。

男性Hさん：リピーターがないときついのではないですか。インフラをしっかりと、富士山は見えないが、こういった素晴らしい環境の中に都留はあることを観光客にも実際に体験し、見てもらうことも必要ではないかと思ひます。市長：建物は作ることはできるが、問題

大々的にそういうことをやったらどうかと思ひます。農業はなぜなかなかできないかという点、非常に手間がかかるからです。市でも支援していきますが、後はいかに皆さんがやるかなんです。

思いは一緒です。都留市の農業を活性化させたい。農業が振興することで、観光面も必ず活性化すると思ひます。

本日はこのように多くの方にご出席いただきましたので、これから対話をするなかでどうしたらいいのか、市にはこういうことをしてほしいという提案がありましたら考えますので、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

「本日をたたき台として考えていきましょう」

男性Aさん：直売所の設置はいつ頃を考えているのですか。

市長：26年度から取り組んでいきたい課題ですが、設備よりも問題は、品物を提供する皆さんのほうで、売るものの課題を解消しなければ、建物のイメージは出てきませんので、ぜひ皆さんには準備会を立ち上げていただきたいです。今日はそのたたき台と思つていただきたいです。

女性Aさん：品物をたくさん用意して人を来させる方法と、まず人をこさせる方法がありますよね。都留の場合はまず景観を美しくする必要があると思ひます。通りに桜や花を植えることで人を集めるのはどうでしょうか。植える木によっても違いますが、季節によつて集まるのではないのでしょうか。

男性Bさん：スパーよりも高い値段で

はいかにして、付加価値があるものを作れ、かつそれを365日売ることができるとかにかかっていますね。

男性Iさん：市独自の基準を設けてほしい。例えば無農薬なのか、有機栽培なのかなど、そういったものに特化すれば消費者にも分かりやすいのではないか。

男性Jさん：技術指導はしっかりとしなければならぬと思ひますし、どこが主体であるかが大切ですね。今日企業の方も来ていると思ひますが、どこかが統括していかなければならない。

市長：農業法人のようなものを地域ごとにつくつて、地域ごとには野菜などをつくつていこう、時期をずらして、ハウスカットなどなど考えてはどうでしょうか。やるかやらないか、成功するかしないかは市内全体で考えなければならぬですね。今日をスタートの日として、地域ごとに話し合つてもらいたいと思います。

男性Kさん：特色があるようなものを作つて売れば、遠くからでも人は来るはずですね。なのでしっかりと産地をつくつて、生産に関しては指導できる人がいて、それぞれの産地を決めて作つてはどうか。

市長：県には専門で指導できる者もいるので、ぜひ依頼していきたいですね。今後は協議会を作り、具体的な話をしていくというのはいかがでしょうか。

男性Lさん：何か一つの形を作れば、それに對してみなさんの考えも変わつてくると思ひます。市長：時間も来ましたので、今後の方向性を、改めて協議させていただければと思ひます。

参加者にインタビューしました!



堀口 校さん
十日市場で水かけ菜や冬菜、ほうれん草などを生産

■ふれあい集會にはどのような気持ちで参加したのですか?

過去に市と相談しながら、地域内で2度ほど組合を作るつもりでしたが難しかったんです。今回は市内全域から農業に従事する人がたくさん集まると聞いて、新しいと思ひました。

■会議に参加した後はどうでした?

他の地域の人に水かけ菜の種をあげたり、新しい輪も広がりましたし、知り合っていた人が今何を作つたり、販売をしたりしている、という話を聞けて面白かったです。今までこういった集まりはなかったの、刺激になりました。

■色々な意見がでしたが、どうでしたか?

もし直売所を作るのであれば、私はインフラ整備を進めて市内に大型バスでたくさん人を呼び込めるようなものを作つたほうが良いと考えています。実現するかわかりませんが、私が住んでいる地区にも自分より若い世代で農業をしている人もいますので、そういった人も入つてやれば活気がつくのではないかと思ひます。

この前の会は初めてだったけれど、何回か回数を重ねればきっとみんな本音が出てくると思つています。そうすれば、改めて「やろう」という話も出てくるかも知れませう。そうだった時には、立ち上がった人達が多くないよう、支えて欲しいと思ひます。■そうです。貴重なお話ありがとうございました。

終了後こんな意見も伺いました!

○ぜひ女性の皆さんも参加して意見を言つて欲しいです。聞いてほしいなと思ひました。

○企業やNPO、個人でやっている人では考え方が違うので、今後はグループごとに意見を出し合うのも良いかも知れませう。せつかく色々な立場の人が集まっているので、もっと意見を引き出せるようにして欲しいと感じました。

○皆さんの意見の中にもありました。が、もし施設のようなものを作るのであれば、実体を色々な地域の人に聞いてみる必要があると思ひます。

○都留市の魅力を発掘するには実際に地域に出て歩いてみる必要があると思ひますし、地域を知っている市民ならではの意見や考えがあると思ふので、そういう意見をもつて聞きたいと感じました。

■皆さん貴重なご意見ありがとうございました。ご意見の中にもありましたように、多くの方々のご意見をお聞きしたいので、ぜひふれあい集會に参加していただきたいと思ひます。

今後も皆さんのもとへ伺います

このふれあい集會は今後も継続し、皆さんのお住まいの地域にて順次開催予定です。およそ1〜2カ月に1地区程度のペースですので、今後の開催地区・日程につきましては広報をご覧ください。

なお、次回の開催は開地地区で、情報クリップ(20ページ)に詳細を掲載しましたので、ぜひご参加ください。